

川崎駅周辺の災害時における行動ルール (案)



大地震が発生すると、交通機関の運行停止により、主要駅を中心に多くの人が滞留し、混乱することが予想されます。

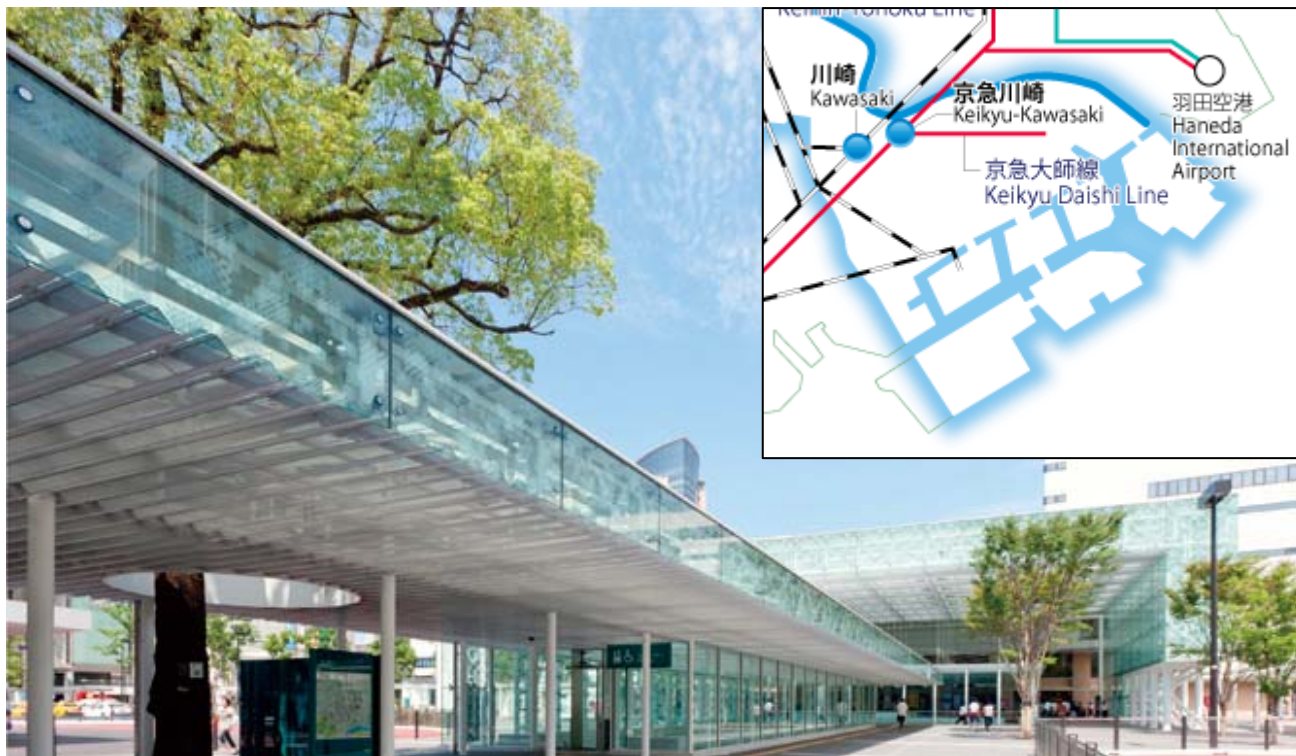
このため、川崎駅周辺の各機関の役割分担の明確化と、関係機関が相互に連携した取組を「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」として定めています。

駅周辺の各施設、従業員、利用者等のみなさまにおかれましては、災害における地域としての備えに向けた取組に協力をお願いいたします。

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会

川崎駅周辺の特徴

川崎駅は、東京と横浜の間に位置し、羽田空港も近いなど交通アクセスに優れ、交通・産業・文化の拠点である川崎の玄関口となっています。



川崎駅周辺には、大型商業施設、企業の業務ビル、高層住宅などが数多く立地し、都市機能が集積しています。そして、年間を通して多彩なイベントがあり、活気に満ちあふれる地域となっています。



行動ルールの概要

想定被害

川崎市直下の地震(マグニチュード 7.3)により、駅前には約 19,000 人の帰宅困難者が発生

P3



目標 滞在者の安全確保と混乱の抑制を図る

役割分担

各組織における対応内容を地域で共有し、自助、共助、公助で対応策を検討

P9

自助

施設ごとに、身の安全確保と落ち着いた行動を徹底

P5

共助

川崎の地域力で、正確な情報提供と適切な誘導

P13

公助

目標の達成に向けて、地域における対応を支援

P19

連携体制

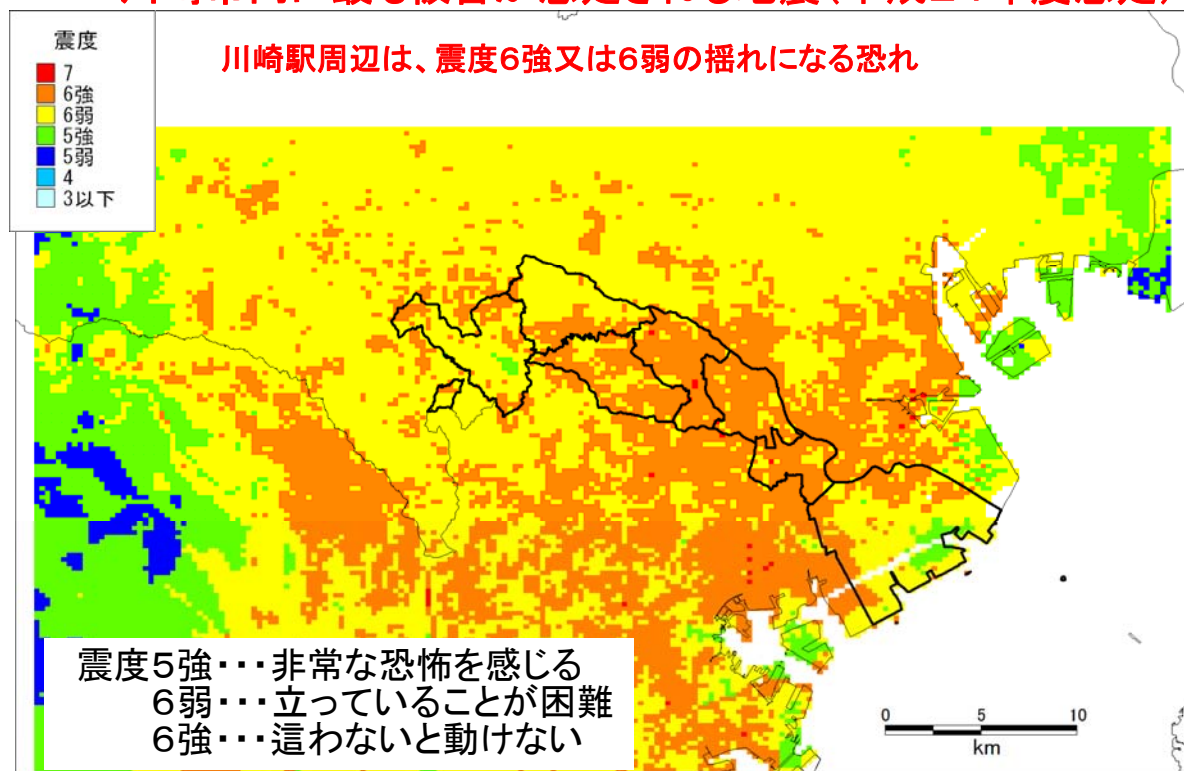
駅周辺の関係者が連携した対応
(案内・誘導、情報提供、要援護者等への支援など)



地震被害の想定

川崎市直下の地震(M7.3)

・・・川崎市内に最も被害が想定される地震(平成24年度想定)



| 種別 | 被害項目 | 川崎区 | 幸区 |
|--------|----------------|-------------------------|------------------------|
| 世帯数・人口 | (平成25年3月1日現在) | 216,657 人 106,073 世帯 | 156,592 人 72,129 世帯 |
| 建物被害 | 全壊棟数 | 6,543 棟 | 4,649 棟 |
| 〃 | 半壊棟数 | 10,964 棟 | 6,314 棟 |
| 地震火災 | 出火件数 | 36 件 | 33 件 |
| 〃 | 焼失棟数 | 3,987 棟 | 2,394 棟 |
| 人的被害 | 死者数 | 235 人 | 156 人 |
| 〃 | 重軽傷者数 | 3,980 人 | 2,384 人 |
| ライフライン | 上水道断水世帯数 | 64,996 世帯 | 50,226 世帯 |
| 〃 | 下水道機能支障世帯数 | 86,845 世帯 | 64,720 世帯 |
| 〃 | 停電世帯数 | 66,682 世帯 | 43,244 世帯 |
| 〃 | 一般回線電話の不通件数 | 市内加入電話の約 20% | |
| 生活支障等 | 避難者数 | 67,689 人 | 56,363 人 |
| 〃 | 駅前滞留者数(私用等) | 19,128 人(川崎駅) | |
| 〃 | 駅前滞留者数(従業員、学生) | 43,649 人(川崎駅) | |

東日本大震災を受けての課題

1 平成23年3月11日 首都圏で515万人の帰宅困難者が発生

- ・主要駅を中心に帰宅困難者が滞留
- ・徒歩帰宅者が大量に発生
- ・激しい道路渋滞
- ・休憩場所として住民用避難所などの施設を開放
- ・情報錯綜 など様々な課題が発生

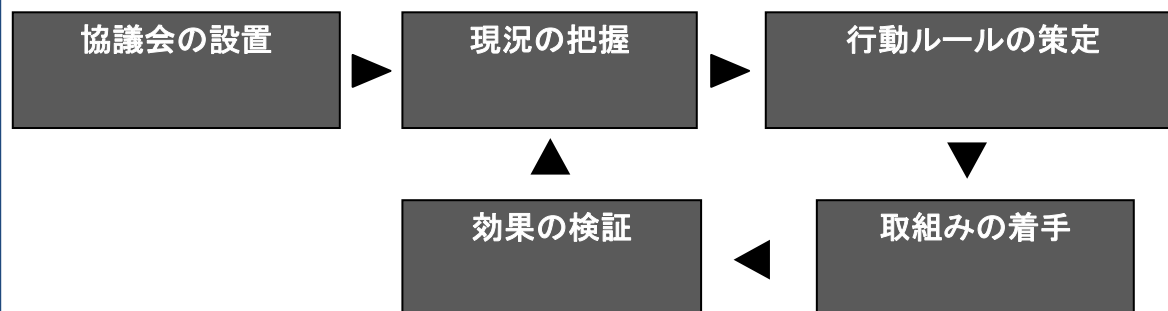
2 川崎市内でも、約5,500人の帰宅困難者を施設で受け入れ

- ・川崎駅:3,000人超が市要請施設に避難
- ・上記の施設以外でも、帰宅困難者を受け入れ
- ・住民用の毛布、上下水道局の飲料水を配布
- ・情報の錯そう
- ・小売店における品薄状態 など様々な課題が発生



川崎駅周辺における対応

東日本大震災の教訓から、課題を抽出し、
川崎駅周辺の地域特性を踏まえた対応策を検討



協議会で課題を共有し、対応方法について検討を重ねながら
川崎駅周辺の災害時における行動ルールを策定し、訓練を通じて検証していく

自助 組織で備えること

1 対応マニュアルの作成と周知

駅や商業施設では、あらかじめ、災害時の初期対応や被害状況の確認、救出救護、エレベータ停止、地震による出火、設備損壊、インフラ不全、避難誘導への対応手順のほか、**従業員や利用客の保護、地域との連携体制**についても対応マニュアルを作成しておきましょう。

作成した**対応マニュアルは、従業員や関係企業の店舗等に伝え、内容の確認を確実に行ってください。**

2 訓練の実施、応急手当等

また、対応マニュアルに沿って、駅や集客施設においては、地震を想定した自衛消防訓練等を定期的実施する際に、施設内待機に関する手順も確認し、必要に応じて改善を行ってください。

地域が主催する訓練にも積極的に参加し、改善点を話し合しましょう。

なお、従業員等に対し、消防署等が開催する応急手当講習会の受講を促しましょう。



「市民救命士の養成について」

<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000020372.html>

事業継続計画(BCP)

災害時に重要業務が中断しないように、あらかじめ対策を立てておくものです。

燃料の確保のほか、事業所や従業員の住居の耐震化や転倒防止措置の徹底も必要です。

NTT 東日本の取組み

災害時の避難施設等での早期通信手段確保及び帰宅困難者の連絡手段確保のため、無料で利用できる特設公衆電話の事前配備を進めています。

3 企業内備蓄、従業員及び利用者の保護

従業員や利用者、学校では児童・生徒の施設内待機のためのスペース、飲料水や食料などの備蓄、ラジオ、毛布、電池、地域の緊急連絡先のほか、必要に応じて災害用トイレ、救急セットなどを準備しておきましょう。

企業内備蓄

従業員や利用者等を直ちに帰宅させることなく、社内に留まることができるよう、3日以上以上の食料や飲料水の備蓄を進めてください。

4 安否登録、安否確認方法

従業員等には事前に NTT や各種携帯電話の災害用伝言システムを周知し、大地震発生時における安否確認方法を家族で確認しあうよう徹底しましょう。

5 建物の安全確認

施設管理者は、建物の安全点検チェックリストを作成しておき、定期的に点検を行っておくなど、速やかに安全点検が行えるようにしておきましょう。

6 その他安全対策の徹底

家具類の転倒、落下、移動防止対策やガラス飛散防止対策も行っておきましょう。

また、交通情報や災害関連情報を提供する手段として、電子掲示板や放送設備、区役所や一時滞在施設との情報伝達のための防災無線機の定期的な確認、周辺の集客施設との情報交換、ホームページ等による災害時の対応方法の周知なども行っておきましょう。

自助 個人で備えること

外出先で地震にあった場合の対応を、あらかじめ考えておきましょう。

● 街頭では

落下物から頭部を守り、ブロック塀や自動販売機、軒下、ガラス戸から離れましょう。



● 人が集まる場所では

怖いのは、パニックで正しい判断ができなくなることです。映画館では座席の間、デパートでは太い柱に身を寄せ、係員の指示に冷静に従ってください。



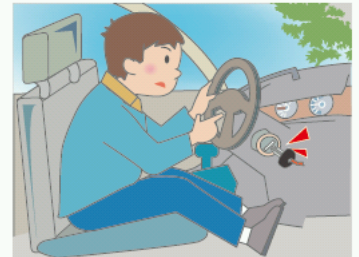
● エレベーターの中では

エレベーターの中で揺れを感じたら、全ての行き先階ボタンを押し、最初に停止した階で降りましょう。閉じ込められたら、非常用連絡ボタンを押し、外部の救助を待ってください。（揺れを感じると最寄階に自動停止するエレベーターもあります。）



● 自動車などで移動中には

車の運転中は、左に寄せて停車し、キーは付けたままドアロックせず、歩いて避難しましょう。また、バスや電車などの公共交通機関で移動中、駅構内にいるときは係員の指示に従いましょう。



徒歩帰宅への備え

揺れがおさまりに、災害情報などで帰宅までのルートが確認できたら、徒歩で帰宅する人も多いと思われます。

災害時に徒歩で帰宅する人たちのために、コンビニエンスストアやファミリーレストラン、ガソリンスタンドなどでは、災害時帰宅支援ステーションとして、水やトイレ、情報の提供について可能な限り支援していただくこととなっています。

徒歩で帰宅するにあたり、次のようなものを準備しておきましょう。

帰宅グッズ

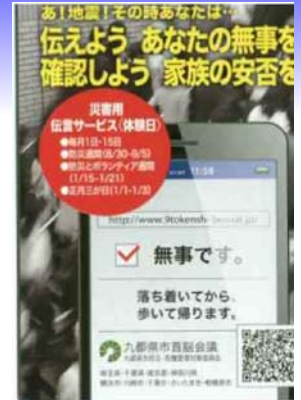
- 歩きやすい靴
- リュックサック
- 地図、懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 防寒着、手袋、カイロ、雨具
- ビニール袋
- 携帯食料、飲料水、常備薬
- ウェットティッシュ
- トイレに流せるティッシュ
- 携帯トイレ



家族で災害時の連絡方法等の確認

大地震等が発生すると、電話がかかりにくくなります。自分の無事を伝え、家族の安否を確認するには、災害用伝言サービスの利用が有効です。

日頃から、家族で災害用伝言サービスの使い方を確認しておきましょう。



忘れていない？ 災害用伝言ダイヤル『171』

災害用伝言ダイヤル(171)は、大規模な災害が発生した場合にサービス提供を開始する、被災住民の安否情報を伝える声の伝言板です。もしものために、利用方法を「忘れてイナイ(171)」と覚えておきましょう。

ご利用方法

伝言の録音方法

171
▼ガイダンス
1
▼ガイダンス
市外局番からダイヤル
(XXX)XXX-XXXX

伝言の再生方法

171
▼ガイダンス
2
▼ガイダンス
市外局番からダイヤル
(XXX)XXX-XXXX

携帯電話 災害用伝言板

NTT DoCoMo

iモード 災害用伝言板

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au by KDDI

災害用伝言板サービス

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

SoftBank

災害用伝言板サービス

<http://dengon.softbank.ne.jp/>

WILLCOM

災害用伝言板サービス

<http://dengon.willcom-inc.com/>

EMOBIILE

災害用伝言板サービス

<http://dengon.emnet/ne.jp/>

災害発生時などには、携帯電話を利用して自身の安否情報を登録することができ、家族や友人の安否を携帯電話やパソコンから確認ができます。

自助 施設ごとに、身の安全確保と落ち着いた行動を徹底

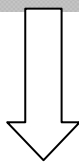


緊急地震速報
来る前に知る

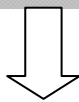
緊急地震速報とは、
地震発生後、強い揺れが到達する
前の注意喚起です。
周囲に身の安全を確保するよう、
呼びかけましょう。

身の安全確保

退避スペース(施設内の安全な場所、駅前広場)



従業員・利用客の安否確認

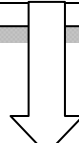


施設の安全点検

(建物の損傷、周辺の災害状況を確認)

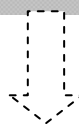
安全の場合

危険な場合



施設内待機

広域避難場所等へ誘導



満杯の場合

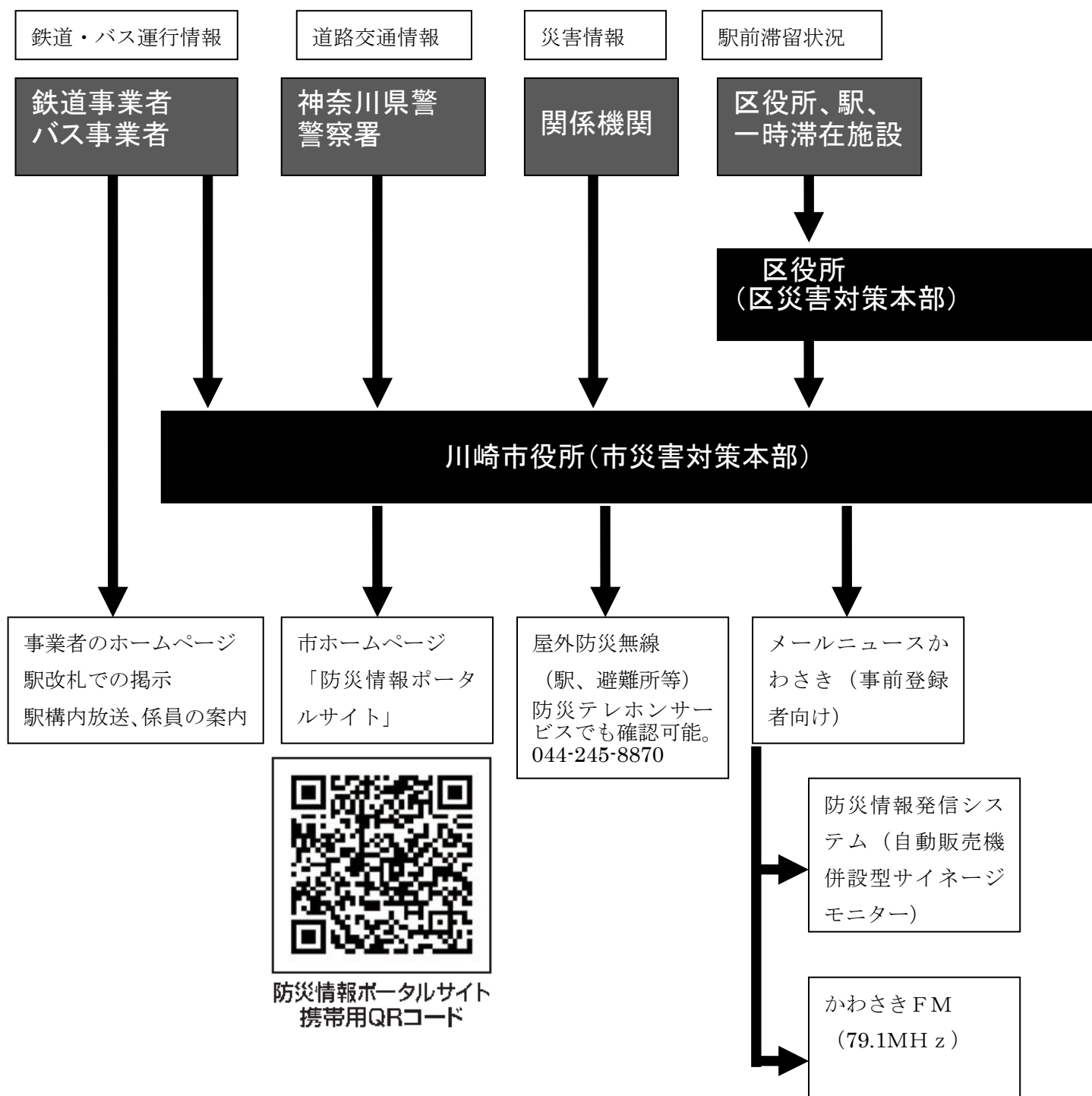
一時滞在施設へ案内

施設の安全点検
チェックリスト

- ・ _____ (○)
- ・ _____ (○)
- ・ _____ (×)

| 施設 | とるべき対応 |
|---------|---|
| 駅 | <p>乗客の安全確保</p> <p>改札前での利用客への運行状況の案内(区に状況報告)</p> <p>乗客、利用客を一時的な避難場所(駅前広場等)に誘導</p> <p>施設点検(可能な限り速やかに実施)</p> <p>施設が安全な場合: 駅構内で乗客や駅前滞留者を保護 満杯の場合、一時滞在施設に誘導</p> <p>施設が危険な場合: 広域避難場所や近くの避難所へ誘導</p> <p>滞留者への備蓄物の配布</p> <p>トイレの開放</p> <p>交通情報、一時滞在施設の開設状況、災害情報の提供</p> |
| 集客施設 | <p>利用客の安全確保</p> <p>施設内か一時的な避難場所(駅前広場等)に誘導</p> <p>施設点検</p> <p>施設が安全な場合: 施設内で利用客を保護 満杯の場合、一時滞在施設に誘導</p> <p>施設が危険な場合: 広域避難場所や近くの避難所へ誘導</p> <p>可能な限り、トイレや休憩スペースを開放</p> <p>交通情報、一時滞在施設の開設状況、災害情報の提供</p> |
| 商店街 | <p>買い物客等の安全確保</p> <p>徒歩で帰れない買い物客等を駅前広場に案内</p> <p>ガス等を使用しないなど、安全な状態での営業(被災の程度による)</p> |
| 区本部 | <p>駅、一時滞在施設との連絡調整、備蓄品の搬入</p> <p>災害情報、滞留状況の把握、市災害対策本部への連絡</p> |
| 市本部 | <p>災害情報、交通情報の把握、各種媒体による情報の発信</p> <p>関係機関との調整</p> |
| 警察 | <p>混乱抑制、滞留者誘導・整理</p> <p>道路交通整理、道路交通情報の提供</p> |
| バス・タクシー | <p>要援護者等の搬送</p> |
| 学校等 | <p>園児、児童、生徒を学校内で保護者引き渡しまで保護</p> |
| 企業 | <p>従業員を施設内で保護</p> <p>施設が危険な場合は、広域避難場所や近くの避難所へ誘導</p> |

情報発信の流れ



※スマートフォン(iPhone,Android)でもお聴き頂けます。アプリケーションをダウンロードの上お楽しみください。

かわさきFM (79.1MHz) では、市災害対策本部からの市の災害情報や交通情報を繰り返し放送。

- ・ 停電等で電源が無い場合、ラジオでの情報収集は有効です。
- ・ ラジオの電波が届かない場合でも、「サイマルラジオ」でインターネット環境により視聴できます。

一時滞在施設の開設・運営状況

公立保育園、公立小学校

震度5強以上の場合、保護者が来るまで園や学校で子どもを保護します。
あらかじめ園や学校と保護者との間で、子どもの安否確認手段について確認しておきましょう。

一時滞在施設

区役所
(区災害対策本部)

川崎市役所(市災害対策本部)

t v k (テレビ神奈川:3ch) のデータ放送(dボタン)

緊急速報メール
(au,NTTdocomo, SoftBank)

Twitter
(kawasaki_bousai)

河川情報表示版(川崎駅自由通路)

一時滞在施設

川崎市、合資会社クリエイティブワークス、ダイドードリンコ株式会社で「電子広告媒体を活用した防災気象情報の提供に関する協定」を締結し、災害時における市内の災害情報を表示します。



←LEDランプとスピーカー(大音量)で
緊急地震速報・大津波警報をお知らせします

災害情報配信機能

災害予防配信機能

通常情報配信機能

平常時は設置場所の情報掲示板として利用可能です。
モニタータイプも、必要に応じて選択可能です。

自立式21.6型(屋外用)

※被災時には、自動販売機内の飲料を提供する災害救援ベンダー

共助 川崎の地域力で、正確な情報提供と適切な誘導

1 川崎の地域力

活用可能な地域資源

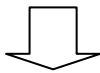
○コミュニティ放送 かわさき FM(79.1MHz)

インターネットでの視聴も可能

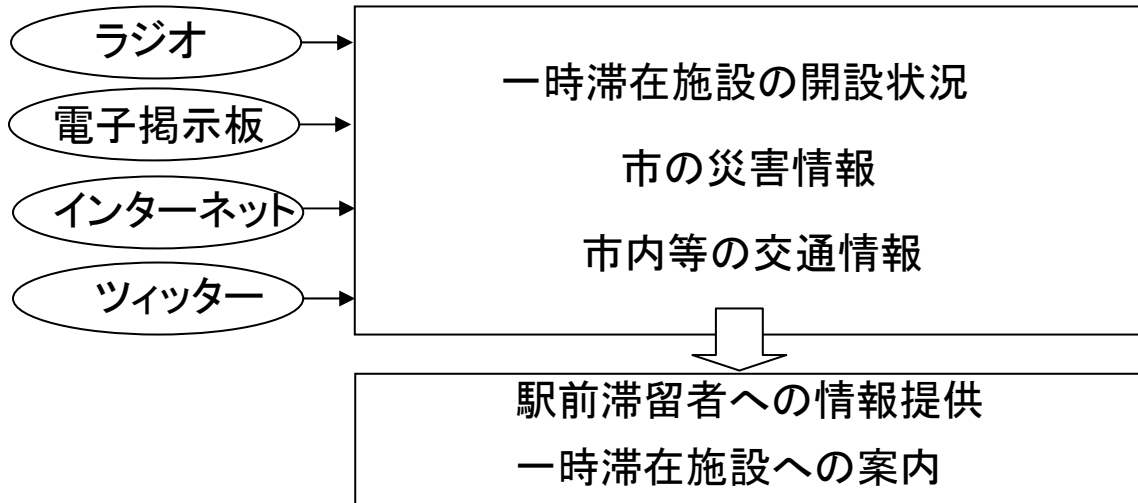
○公衆無線 LAN のスポット

多くの店舗でWi-Fi スポットを利用可能(災害時は利用制限を開放するサービスが増えている。)

○日頃の地域ぐるみでのイベントによるフェーストゥフェースな関係から、活気あるマンパワーによる地域連携



■これらの地域資源を有効に活用し、正確な情報を地域で共有



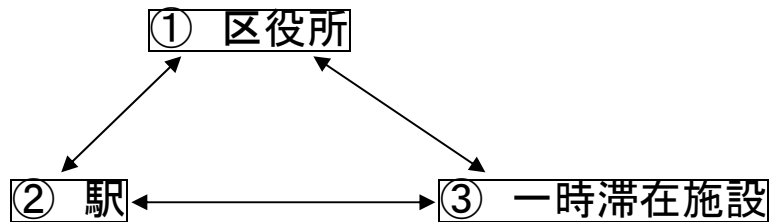
■トイレの提供、案内、要援護者や負傷者等の支援、安全な避難経路の案内、屋外滞留者の駅前広場への誘導など、地域をあげて対応

2 情報受発信拠点

情報受発信拠点の設置と役割について協議会において検討を進めます。

3 区・駅・一時滞在施設の情報共有

駅、区役所、一時滞在施設間で、簡易無線機による情報交換を行い、一時滞在施設の開設、運営状況を常時確認し、帰宅困難者の案内、誘導を的確に実施してまいります。



情報共有例：

「①の区役所さん、こちら②の駅、応答願います。」

「こちら①の区役所、どうぞ」

「②の駅から情報連絡です。電車の終日運行が決まりました。どうぞ。」

「こちら①の区役所、了解しました。駅前の滞留状況はどうですか。」

「こちら②の駅、多くの方が改札前に滞留しています。数は不明です。」

「こちら①の区役所、了解しました。施設点検は済んでいますか。」

「こちら②の駅、施設点検はこれからです。乗客を屋外に誘導します。」

「こちら①の区役所、了解です。③の一時滞在施設さん、応答願います。」

「こちら③の施設です。状況は聞いておりました。」

「こちら①の区役所、③の施設は、安全点検を終了しましたか。」

「こちら③の施設、施設の安全を確認しております。」

「こちら①の区役所、了解です。滞留者多数につき、受入可能ですか。」

「こちら③の施設、300人まで受入可能です。受入準備いたします。」

「こちら①の区役所、協力ありがとうございます。おって連絡します。」

「こちら③の施設、了解しました。」

「②の駅さん、こちら①の区役所、応答願います。」

「こちら②の駅、どうぞ。」

「こちら①の区役所、一時滞在施設の準備を進めています。」

「こちら②の駅、300人の受入先確保、ありがとうございます。」

「こちら①の区役所、駅構内での保護可能人数は何人ですか。」

「こちら②の駅、施設点検中ですが、300人は可能と思われます。」

「②の駅さん、こちら①の区役所、了解。施設の準備が整い次第、誘導の指示を出します。」

.....

4 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会

川崎市では、川崎駅における大地震発生時の帰宅困難者対策を協議、推進するため、交通事業者、一時滞在施設、商業施設、警察署、消防署等の関係機関で構成する、川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会を平成23年9月3日に設置しました。

平成24年度は内閣府の都市再生安全確保計画策定事業を活用して、川崎駅周辺の地域特性や滞留予測の算定等の基礎調査や、協議会委員が参加のワークショップの開催を通じて、災害時における行動ルール案を策定しました。

平成25年度は、川崎駅周辺都市再生緊急整備地域協議会に、本協議会がオブザーバー参加し、災害時における行動ルール、いわゆるソフト面の対策に加え、ハード面の対策を協議し、帰宅困難者対策訓練を通じて、災害時における滞在者の安全確保を図ります。

平成24年9月3日

第1回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
協議会の設置について等の協議

平成24年11月17日

第2回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
行動ルールの考え方等の協議

平成25年1月21日

第3回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
ワークショップによる検証

平成25年3月25日

第4回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
災害時における行動ルール(案)等の協議

これまでの協議内容については、川崎市ホームページで閲覧ができます。

<http://www.city.kawasaki.jp/160/page/0000042505.html>

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会委員名簿

| | |
|----------|-------------------|
| 市災害対策本部 | 総務局危機管理室 |
| 区災害対策本部 | 川崎区役所危機管理担当 |
| | 幸区役所危機管理担当 |
| 交通事業者 | JR東日本横浜支社 |
| | JR川崎駅 |
| | 京浜急行電鉄 |
| | 京浜川崎駅 |
| | 川崎市交通局 |
| | 川崎鶴見臨港バス |
| | 東急バス |
| | 神奈川県タクシー協会 |
| 一時滞在施設 | 川崎市産業振興会館 |
| | 川崎市教育文化会館 |
| | 川崎アゼリア株式会社 |
| | 川崎日航ホテル |
| | 川崎市医師会館 |
| | 幸市民館・図書館 |
| 警察署 | 川崎警察署 |
| | 川崎臨港警察署 |
| | 幸警察署 |
| 消防署 | 川崎消防署 |
| | 臨港消防署 |
| | 幸消防署 |
| 商業施設等 | 川崎商工会議所 |
| | 川崎中央商店街連合会 |
| | 川崎駅前商店街連合会 |
| | 幸商店街連合会 |
| | 川崎西口商店会 |
| | 株式会社アトレ川崎店 |
| | 株式会社 チッタ エンタテイメント |
| | ミュージア川崎管理事務所 |
| | 三井不動産商業マネジメント株式会社 |
| | ホテルメッツ川崎 |
| 関係団体・企業等 | 川崎区自主防災組織連絡協議会 |
| | 川崎区区民会議 |
| | 幸区自主防災連絡協議会 |
| | 東日本電信電話株式会社 |
| | 川崎信用金庫 |
| | NREG東芝不動産株式会社 |
| | 三井不動産株式会社 |
| | キャノン株式会社川崎事業所 |
| | 株式会社第一ビルディング |
| | 住友不動産株式会社リパーク川崎ビル |
| 川崎地域連合 | |
| 市役所関係局 | 市民・こども局こども本部 |
| | 環境局 |
| | 健康福祉局 |
| | まちづくり局 |
| | 上下水道局 |
| | 教育委員会事務局 |

共助 一時滞在施設

1 一時滞在施設とは

一時滞在施設とは、大地震の発生により鉄道等の公共交通機関が運行停止となり、帰宅が困難となって、行きどころのない人を一時的に受け入れる施設です。

2 いつ開設されるのか

駅周辺に多数の人が集まり、混乱や事故の発生が予測される場合、区役所が安全の確認がとれた施設に開設の要請をします。区役所からの要請を受けて、施設の安全を確認し、受入の準備が整った施設から開設いたします。

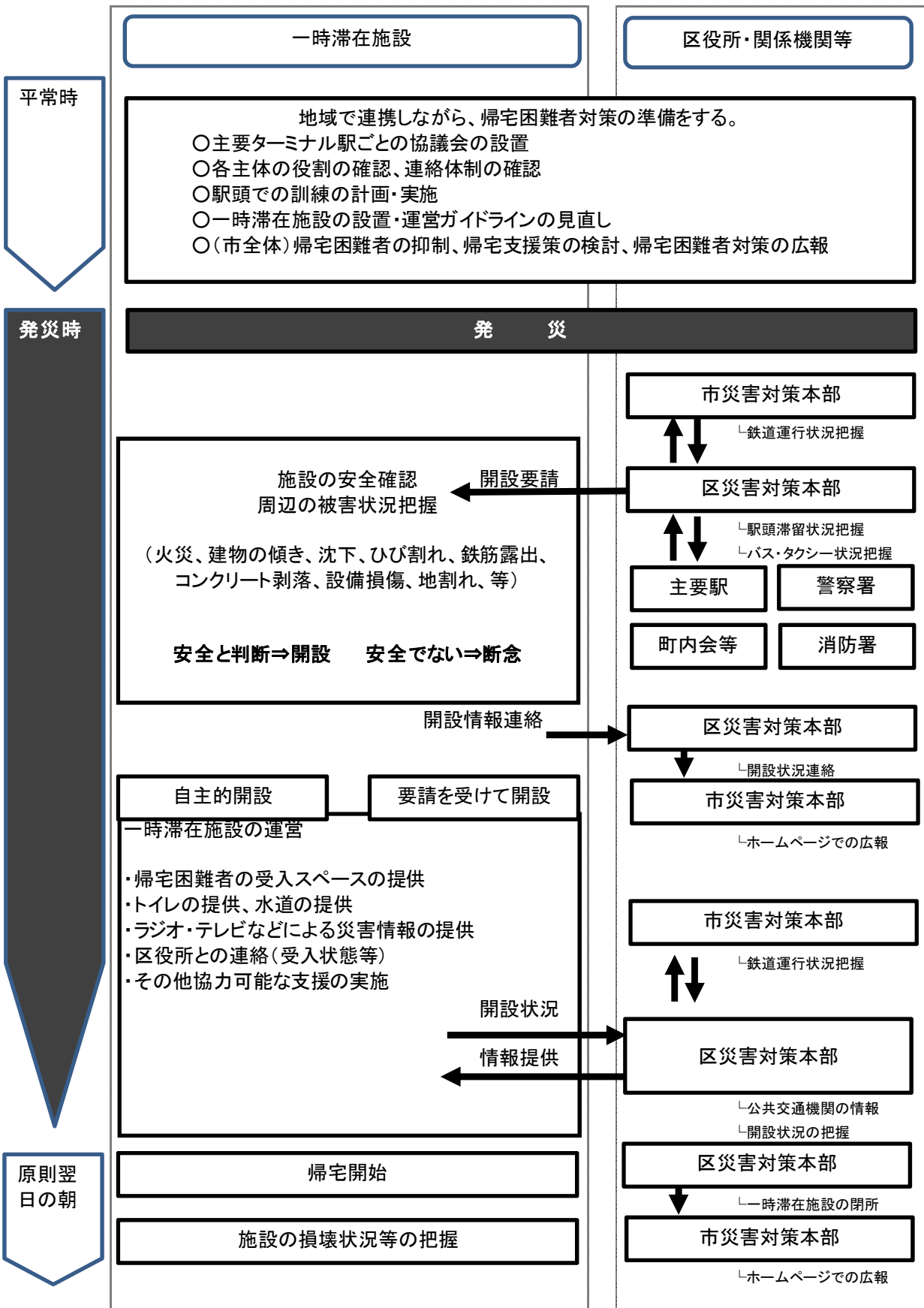
3 開設状況の確認方法

川崎市ホームページ、Twitter (kawasaki_bousai)、かわさき FM (79.1MHz)、tvk(テレビ神奈川データ放送)での広報のほか、駅や警察の案内で確認してください。

4 いつまで利用できるのか

原則として、翌日の朝まで。2日目以降、利用できる施設が変わる場合があります。(対象施設は滞留人数や被災状況によって変わります。)





公助 目標の達成に向けて、地域における対応を支援

1 一時滞在施設用備蓄について

帰宅困難者用として、飲料水（500mlペットボトル）及び防寒シートを備蓄しています。

これらの備蓄は、一時滞在施設を利用する人に一人あたり、それぞれ1本及び1枚を配布することとしております。

これらの備蓄は、区役所ごとに管理しておりますが、迅速な利用者への配布を目指すため、一時滞在施設への設置につきまして、御協力をお願いいたします。

備蓄の設置場所が無い施設へは、区役所が設置した備蓄保管場所からの搬入となります。この搬入にあたっては、関係者で連携した共助で対応することとします。

2 一時滞在施設の確保について

帰宅困難者用一時滞在施設につきましては、駅周辺の施設に御協力をいただくようお願いしているところですが、現在の確保の施設だけでは、駅前滞留者の想定数をまだ収容しきれない状況です。

そのため、一時滞在施設の確保にあたり、各施設に対して、引き続き協力を求めてまいります。

この確保に向けた取組みに併せて、区役所、駅、一時滞在施設との簡易防災無線の整備や、非常用電源の燃料の確保の検討を進めます。

なお、東京都の一時滞在施設向けの災害時の受入に伴う見舞金を出す保険を商品として販売する保険会社もおります。川崎駅周辺についても、この保険を利用についても検討を進めます。

3 違法駐車、歩道の不法占拠、屋外広告物等について

違法駐車や歩道の不法占拠、屋外広告物の転倒・落下防止策について、関係者にさらなる徹底を求めボトルネックの解消に努めます。

4 都市安全確保促進事業について

都市再生特別措置法の一部を改正する法律 (H24.3.30成立、H24.7.1施行) (予算関連法律)

大規模な地震が発生した場合における都市再生緊急整備地域内の滞在者等の安全の確保を図るため、都市再生緊急整備協議会による都市再生安全確保計画の作成、都市再生安全確保施設に関する協定制度の創設等の所要の措置を講ずる。

背景

- ◆ 東日本大震災の際に、管理者の異なる様々な施設が集積する大都市の交通結節点周辺等のエリアにおいて、避難者・帰宅困難者等による大きな混乱が発生。
- ◆ 首都直下地震等の大規模な地震が発生した場合には、建物損壊、交通機関のマヒ等により、甚大な人的・物的被害が想定。
⇒ **官民の連携によるハード・ソフト両面にわたる都市の安全確保策が必要**

法案の概要 **都市再生安全確保計画制度の創設**

○ 都市再生緊急整備地域(全国63地域を指定)の協議会(国、関係地方公共団体、都市開発事業者、公共公益施設管理者等(鉄道事業者、大規模ビルの所有者・テナント等を追加)からなる官民協議会が、大規模な地震の発生に備え、

- ・ 退避経路、退避施設、備蓄倉庫等(都市再生安全確保施設)の整備・管理
- ・ 退避施設への誘導、災害情報・運行再開見込み等の交通情報の提供、備蓄物資の提供、避難訓練等について定めた計画(都市再生安全確保計画)を作成できることとする。
- 計画に記載された事業等の実施主体は、計画に従って事業等を実施。

都市再生安全確保計画の作成、計画に記載された事業等の実施に対し**予算支援**(4.9億円)

一時退避の誘導と経路の確保

- ・地震発生時に、鉄道駅やビルから円滑に誘導・誘導のための情報発信設備を整備
- ・退避経路の協定(承継効付き)により関係者による継続的な管理を担保

退避施設の確保

- ・鉄道駅、オフィスビル等に退避施設を確保(数日間滞在)
- ・退避施設の協定(承継効付き)により関係者による継続的な管理を担保

情報提供

- ・災害情報、交通情報等の提供

耐震改修等の促進

- ・建築確認、耐震改修等の認定等手続を一本化

備蓄倉庫等の確保

- ・計画に記載された備蓄倉庫等の部分を空積率不算入
- ・地方公共団体との管理協定(承継効付き)により継続的な管理を担保
- ・都市公園に備蓄倉庫等を設置する際の占用許可手続を迅速化

地方公共団体 国 都市開発事業者、鉄道事業者等

官民の役割分担の下に計画を作成

都市における大規模地震発生時の安全を確保

都市安全確保促進事業(エリア防災促進事業)の創設 【平成24年度3.4億円】

都市機能が集積した地域における大規模な震災の発生が社会経済に与える影響に鑑み、都市再生緊急整備地域の滞在者等の安全と都市機能の継続性を確保するため、官民連携による一体的・計画的なソフト・ハード両面の対策への支援制度を創設。



その他の帰宅困難者対策

1 災害時帰宅支援ステーション

九都県市で災害時に協力の支援について協定を締結した、災害時帰宅支援ステーションでは、①水道水の提供 ②トイレの使用 ③地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲で協力していただけることになっています。



災害時帰宅困難者ステーションのステッカー

災害時帰宅支援ステーションの店舗

| | | |
|------------|---|--|
| コンビニエンスストア | <ul style="list-style-type: none"> ● キュウズマート ● コミュニティ・ストア ● サークルK ● スリーエフ ● デイリーヤマザキ ● ファミリーマート ● ミニストップ ● ローソン | <ul style="list-style-type: none"> ● ココストア ● 生活彩家 ● サンクス ● セブン-イレブン ● ナチュラルローソン ● ポプラ ● ヤマザキデイリーストア ● ローソンストア100 |
| ファーストフード | <ul style="list-style-type: none"> ● カレーハウス CoCo壱番屋 ● タリーズコーヒーNEW ● 吉野家 | <ul style="list-style-type: none"> ● モスバーガー ● ミスタードーナツNEW ● 山田うどん |
| ファミリーレストラン | <ul style="list-style-type: none"> ● 味の民芸 ● シェーキーズ ● TGI FRiDAY'S ● らーめん専門店ぶぶか ● 和食処サガミ | <ul style="list-style-type: none"> ● 公公婆婆 ● シズラー ● デニーズ ● ロイヤルホスト ● 和食さと |
| 居酒屋 | <ul style="list-style-type: none"> ● 梅の木 ● 饗の屋 ● ゴハン ● 坐和民 ● 団欒炎 ● 知夢仁 ● はな(花)の舞 ● やきとり道場 ● わたみんな家 | <ul style="list-style-type: none"> ● 王道 ● 仰天酒場 ● さかなや道場 ● 炭旬 ● チムニー ● 和み亭 ● 麺丸・酒菜の二枚看板 ● 和民 |
| カラオケスペース | <ul style="list-style-type: none"> ● カラオケ館 ● 祭一丁&ビッグエコー 等 | <ul style="list-style-type: none"> ● ビッグエコー |

川崎駅周辺マップ



| | |
|-----------------------|---|
| 簡易無線機 (一時滞在施設、駅、区) | チャンネル: |
| 区危機管理担当 | 電話 : FAX : Eメール : |
| 災害情報 | 市ホームページ:「川崎市防災情報ポータルサイト」 http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/disaster.shtml 市の掲載サイト:「川崎市緊急災害情報」 http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/m/ 電車運行状況 「JR東日本運行状況」 http://traininfo.jreast.co.jp/train_info/kanto.aspx 「京急運行状況」 http://www.keikyu.co.jp/train/operation_info.shtml バス運行状況 市バス : http://www.city.kawasaki.jp/820/ 臨港バス : http://www.rinkobus.co.jp/ 東急バス : http://www.tokyubus.co.jp/top/index.shtml ラジオ : かわさきFM(79.1MHz) ・・・インターネットで視聴できます(「サイマルラジオ」) テレビ : tvk(テレビ神奈川3ch)データ放送 SNS : Twitter「 kawasaki_bousai 」 |
| 一時避難場所 | 施設内の安全確保場所 () 施設の安全確認の間は、 () 施設の崩壊や周辺の危険時は、 () |



KAWASAKI CITY

発行 : 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会 事務局

川崎市総務局危機管理室 電話 044-200-2850

川崎区役所危機管理担当 電話 044-201-3327

幸区役所危機管理担当 電話 044-556-6610